

平成29年度上半期 医療事故等行為別件数及び障害区分レベル4・5の概要

(1) 医療事故等 行為別件数

平成29年度	レベル	インシデント			
		0	1	2	計
薬剤		94	318	14	426
輸血		0	5	0	5
治療・処置		20	27	15	62
医療機器等		16	14	0	30
ドレーンチューブ		10	58	38	106
検査		89	77	41	207
療養上の世話		113	399	88	600
その他		104	94	13	211
計		446	992	209	1647

アクシデント			
3	4	5	計
4	0	0	4
0	0	0	0
7	0	0	7
0	0	0	0
2	0	0	2
2	0	0	2
9	0	0	9
1	1	0	2
25	1	0	26

合計 1673

障害区分(レベル)	内 容	
インシデント	レベル0	事故が起こる前に気がついた場合
	レベル1	事故が起こったが、影響がなかった場合
	レベル2	事故により、軽微な処置・治療(消毒, 湿布, 鎮痛剤投与など)を要した場合
アクシデント	レベル3	事故により、処置・治療を要したが、永続的な障害が残らなかった場合
	レベル4	事故により、永続的な障害が残った場合
	レベル5	事故による死亡

(2) 医療事故 障害区分レベル4・5の概要

NO.	レベル	事例の概要および対応	
1	4	概要	胸部大動脈解離: 突然の胸背部痛を自覚し救急外来受診した。受診時症状は消失しており、胸部大動脈解離の可能性も疑い必要な検査を施行したが確定診断には至らなかった。その結果、対症薬処方し自宅での療養とした。同日腰痛、下肢痛が出現したため救急搬送された。
		対応	痛みの性状等問診を十分に行うと共に、患者・家族へ症状再出現時の対応方法について十分な説明を行う。

* 公表については個人情報保護に配慮した内容にしています。